



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月5日

上場会社名 オリコン株式会社
コード番号 4800 URL <https://www.oricon.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 恒
問合せ先責任者 (役職名) 企業広報部長 (氏名) 西 昭一郎

TEL 03-3405-5252

四半期報告書提出予定日 2019年8月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,058	14.0	289	78.8	282	80.4	176	86.6
2019年3月期第1四半期	928	1.1	161	30.8	156	34.7	94	27.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 164百万円 (73.4%) 2019年3月期第1四半期 94百万円 (27.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	12.75	12.65
2019年3月期第1四半期	6.82	6.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	3,291	2,554	77.6	184.90
2019年3月期	3,510	2,650	75.5	190.61

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 2,554百万円 2019年3月期 2,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		12.00	12.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	円 銭
通期	723	25.1	52.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	15,123,200 株	2019年3月期	15,123,200 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,309,644 株	2019年3月期	1,220,303 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	13,881,677 株	2019年3月期1Q	13,902,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)におけるわが国経済は、引き続き緩やかな回復基調で推移しました。一方、通商問題の動向が世界経済に与える影響など、不透明な先行きへの懸念は増しており、慎重な判断を要する状況にあります。

国内の情報通信分野においては、電通グループ3社(株式会社D2C/株式会社サイバー・コミュニケーションズ/株式会社電通)が発表したインターネット広告媒体費に関する詳細分析によると、2019年は全体で前年比15.9%増の拡大が見込まれ、うち成長を牽引するビデオ(動画)広告費については前年比30.8%増の予測が発表されています。

このような状況の下、当第1四半期連結累計期間において当社グループの売上は、コミュニケーション事業が前年同期を大きく上回って推移しました。また、データサービス事業は前年同期比で増収、モバイル事業と雑誌事業は前年同期に比べ減収となり、この結果、売上高は前年同期比129,665千円増(14.0%増)の1,058,601千円となりました。

費用面では、前期の業績に即した労務費の引き上げなど人材への投資を行う一方で、全社的なコスト管理に取り組んだ結果、売上原価が1,643千円増(0.4%増)、販売費及び一般管理費が550千円増(0.2%増)といずれも微増となりました。

以上の結果、営業利益は前年同期比127,471千円増(78.8%増)の289,242千円、経常利益は前年同期比125,844千円増(80.4%増)の282,418千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比82,149千円増(86.6%増)の176,985千円となりました。

当第1四半期連結累計期間の報告セグメントごとの状況は、以下の通りであります。

① コミュニケーション事業

当社グループでは、WEBサイトの制作・運営・広告販売ならびにニュースコンテンツの提供等を行うビジネスをコミュニケーション事業と呼称し、「顧客満足度(CS)調査事業」と「ニュース配信・PV事業」を展開しております。

顧客満足度(CS)調査事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて24.1%増加しました。商標利用契約・WEBプロモーション・データ販売の各ビジネスともに前年同期比で収益規模を拡大して推移しています。

ニュース配信・PV事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて36.0%増加しました。自社メディアでは、6月に過去最高の月間2.6億ページビューとなったアクセス増を背景に広告売上を伸ばし、タイアップ広告についても企画提案を着実に積み上げて進捗しました。

以上の結果、コミュニケーション事業全体の当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比153,941千円増(30.1%増)の665,676千円、セグメント利益は前年同期比135,957千円増(54.7%増)の384,418千円となりました。

②データサービス事業

音楽ソフト・映像ソフト・書籍のマーケティングデータを提供するオンラインサービス「ORICON BiZ online」を中心に、当社グループが保有するエンタテインメント関連データを活用したビジネス展開を行っています。当第1四半期連結累計期間においては、前期に提供メニューを拡充した「ORICON BiZ online」デジタルランキング関連の売上が、前年同期比で倍増して収益に貢献しました。以上の結果、データサービス事業全体の売上高は前年同期比5,628千円増(3.6%増)の162,563千円、セグメント利益は前年同期比1,771千円増(3.5%増)の51,867千円となりました。

③モバイル事業

市場縮小にともないフィーチャーフォン向け事業の売上は前年同期比18.2%減、スマートフォン向け事業が5.3%減となり、モバイル事業全体の当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比23,696千円減(11.9%減)の174,694千円、セグメント利益は前年同期比16,970千円減(16.0%減)の89,053千円となりました。

④雑誌事業

エンタテインメント業界向けビジネスマガジン「コンフィデンス」を発行しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比6,207千円減(10.0%減)の55,667千円、セグメント利益は前年同期比6,110千円減(46.9%減)の6,925千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,291,452千円となり、前連結会計年度末と比べ218,646千円減少しました。これは主に現預金の減少によるものであります。負債合計は736,977千円となり、前連結会計年度末と比べ122,659千円減少しました。これは主に未払法人税等の減少によるものであります。純資産合計は2,554,475千円となり、前連結会計年度末と比べ95,987千円減少しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益176,985千円を計上し、配当金166,834千円の支払、自己株式94,993千円の取得があったことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は77.6%となり、前連結会計年度末と比べて2.1ポイントの上昇、前第1四半期連結会計期間末と比べて6.2ポイントの上昇となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,913,907	1,450,106
受取手形及び売掛金	548,316	547,114
商品及び製品	5,689	5,235
仕掛品	5,711	6,156
その他	176,382	452,507
貸倒引当金	△489	△515
流動資産合計	2,649,517	2,460,606
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,962	24,387
工具、器具及び備品(純額)	101,720	116,882
土地	1,973	1,973
有形固定資産合計	128,656	143,244
無形固定資産		
ソフトウェア	135,142	139,491
その他	3,209	3,209
無形固定資産合計	138,352	142,700
投資その他の資産		
投資有価証券	133,510	113,059
その他	467,305	439,221
投資損失引当金	△4,900	△4,900
貸倒引当金	△3,428	△3,403
投資その他の資産合計	592,487	543,978
固定資産合計	859,496	829,923
繰延資産	1,086	923
資産合計	3,510,099	3,291,452
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,515	20,195
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	45,000	30,000
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	196,909	71,203
その他	417,211	455,578
流動負債合計	819,637	716,977
固定負債		
社債	40,000	20,000
固定負債合計	40,000	20,000
負債合計	859,637	736,977

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,450	1,092,450
資本剰余金	—	121
利益剰余金	1,834,412	1,844,562
自己株式	△350,068	△443,809
株主資本合計	2,576,794	2,493,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,302	60,789
その他の包括利益累計額合計	73,302	60,789
新株予約権	365	360
純資産合計	2,650,462	2,554,475
負債純資産合計	3,510,099	3,291,452

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	928,936	1,058,601
売上原価	403,943	405,586
売上総利益	524,993	653,015
販売費及び一般管理費	363,221	363,772
営業利益	161,771	289,242
営業外収益		
受取利息	0	0
その他	21	16
営業外収益合計	22	17
営業外費用		
支払利息	992	498
株式関連費	3,634	3,249
支払手数料	420	515
投資事業組合運用損	—	2,414
その他	173	162
営業外費用合計	5,219	6,841
経常利益	156,574	282,418
特別損失		
固定資産除却損	56	2
投資有価証券評価損	6,769	—
特別損失合計	6,825	2
税金等調整前四半期純利益	149,748	282,415
法人税、住民税及び事業税	33,900	68,991
法人税等調整額	21,011	36,439
法人税等合計	54,912	105,430
四半期純利益	94,836	176,985
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,836	176,985

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	94,836	176,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△12,513
その他の包括利益合計	—	△12,513
四半期包括利益	94,836	164,471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,836	164,471
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	コミュニケーション	データサービス	モバイル	雑誌	計		
売上高							
外部顧客への売上高	511,735	156,935	198,391	61,874	928,936	—	928,936
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,000	—	—	—	21,000	—	21,000
計	532,735	156,935	198,391	61,874	949,936	—	949,936
セグメント利益	248,461	50,096	106,024	13,036	417,618	—	417,618

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	417,618
セグメント間取引消去	18
全社費用(注)	△255,865
四半期連結損益計算書の営業利益	161,771

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	コミュニケーション	データサービス	モバイル	雑誌	計		
売上高							
外部顧客への売上高	665,676	162,563	174,694	55,667	1,058,601	—	1,058,601
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,000	—	—	—	21,000	—	21,000
計	686,676	162,563	174,694	55,667	1,079,601	—	1,079,601
セグメント利益	384,418	51,867	89,053	6,925	532,265	—	532,265

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	532,265
セグメント間取引消去	11
全社費用(注)	△243,034
四半期連結損益計算書の営業利益	289,242

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2019年6月5日開催の取締役会において、会社法第459条第1項及び当社定款第46条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

株主還元を充実させるとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするため。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類

普通株式

(2) 取得し得る株式の総数

300,000株 (上限)

(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.15%)

(3) 株式の取得価額の総額

360,000千円 (上限)

(4) 取得期間

2019年6月6日～2019年8月30日

(5) 取得方法

東京証券取引所における市場買付

3. 2019年7月31日までに取得した自己株式の累計

(1) 取得株数

219,700株

(2) 取得価額

251,863千円

4. 当第1四半期連結会計期間末時点における取得状況

(1) 取得株数

93,800株

(2) 取得価額

94,993千円